

クイックスタート: Startup+を使った Axioline モジュールの設定

目次

本文書の目的.....	1
1. Startup+のインストールと初期起動.....	2
2. Startup+を使った Axioline モジュールへのパラメータの設定.....	4

本文書の目的

本文書では以下の手順について説明します。

- Startup+のインストールと初期起動
- Startup+を使った Axioline モジュールへのパラメータの設定

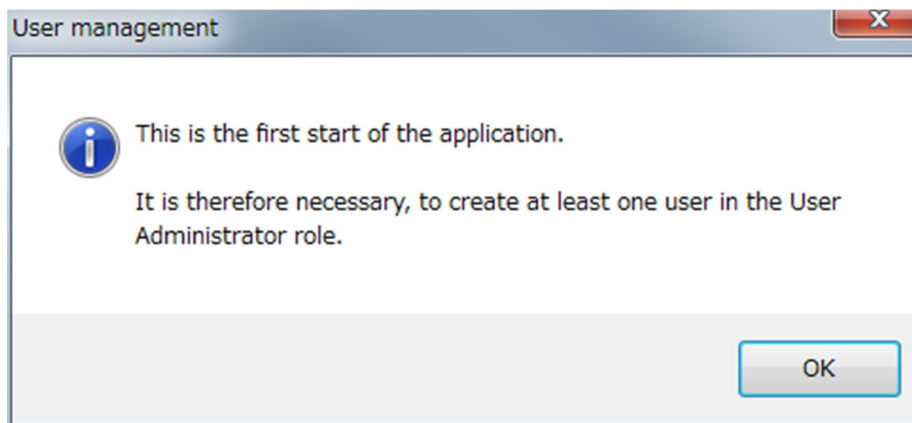
必要なもの : Axioline デバイス、Ethernet ケーブル、Startup+

1. Startup+のインストールと初期起動

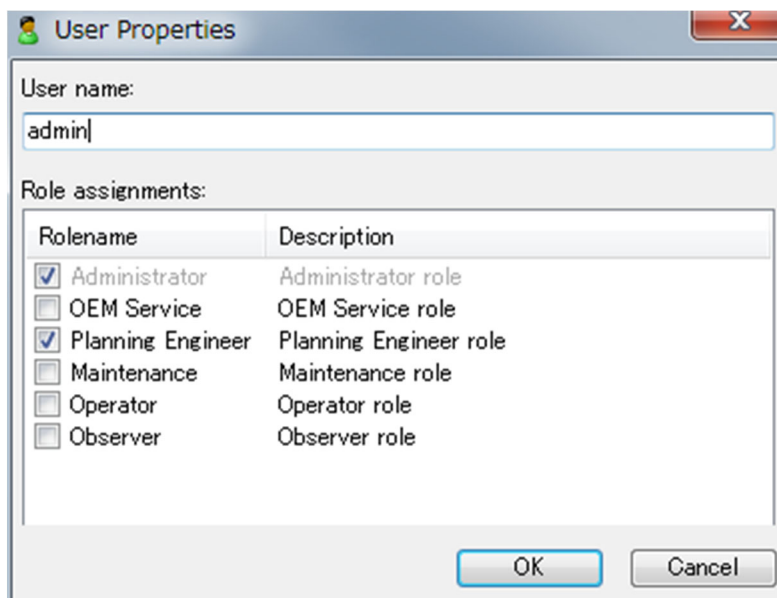
弊社ホームページで、Startup+を検索し、Download ページから最新版のStartup+の実行ファイルをダウンロードしてください。(例: StartupPlusSetup_v2_70.exe ソフトウェアの項目にあります。)

ダウンロード後、そのファイルをそのまま実行してインストールを行ってください。

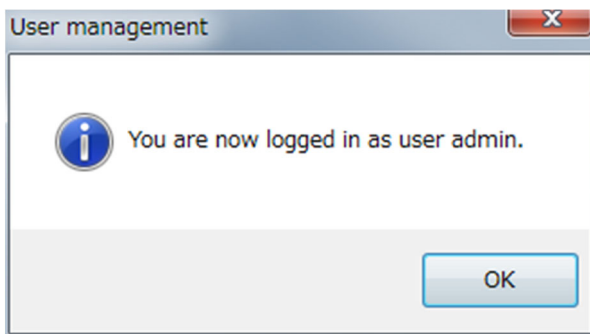
インストール後、Startup+を起動すると、次のようなダイアログが出るので、そのまま[OK]をクリックしてください。



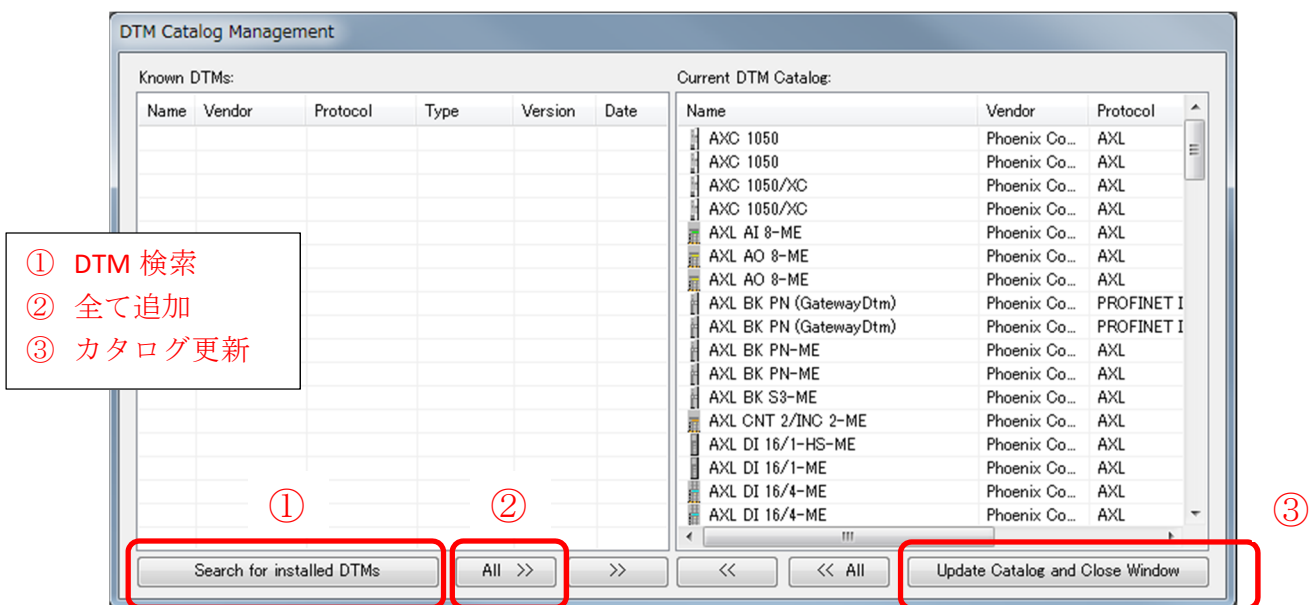
すると、つぎのようなダイアログが出て、ユーザー名を入力を促されますので、例えば、"admin"のようなユーザー名を入力して[OK]で先に進んでください。



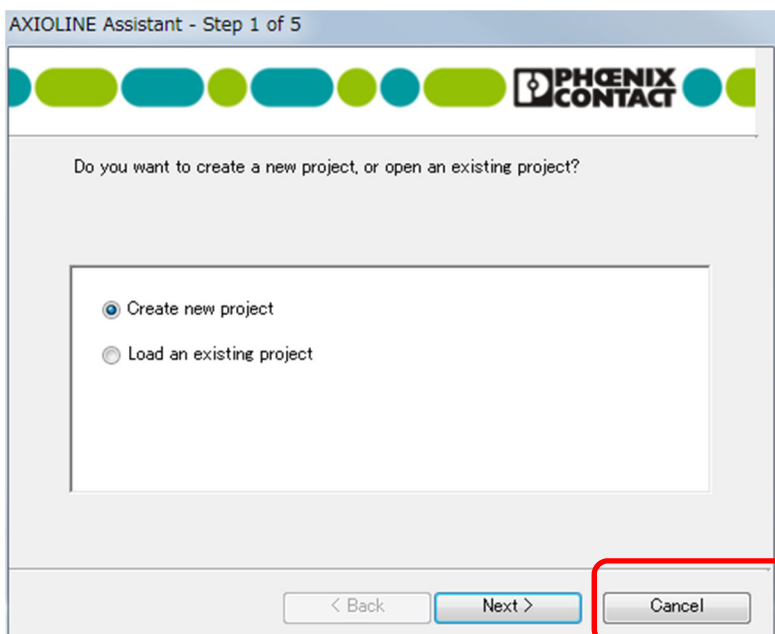
すると、また次のようなダイアログが出るので[OK]で先に進んでください。



その後、次のような DTM カタログの画面が出ますが、ここは DTM を追加してから、右下の [Update Catalog and Close Window] をクリックして先にすすんでください。

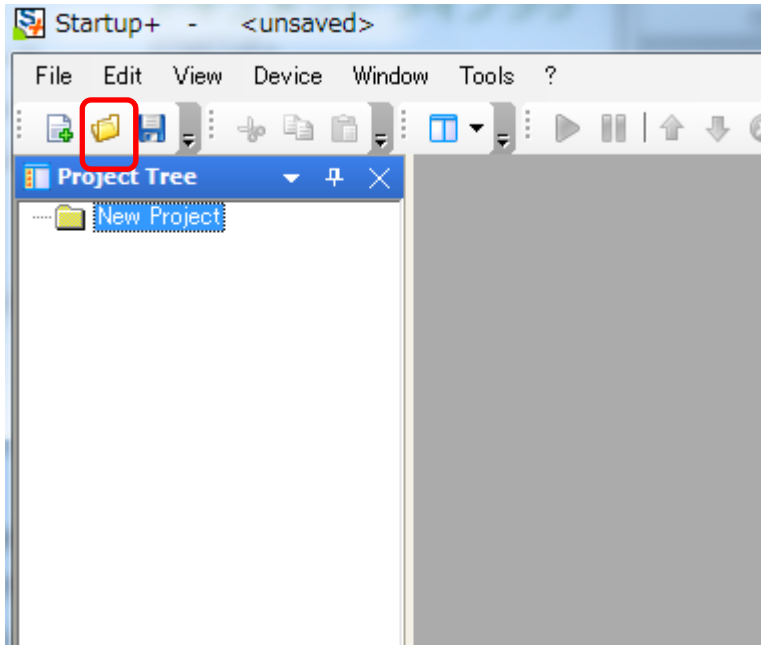


ここで、ひとまず[Cancel]で終了します。

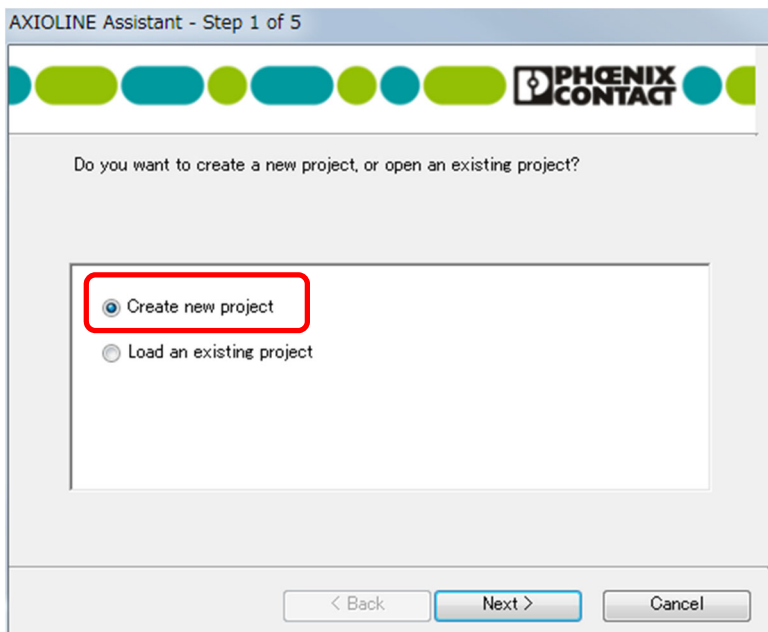


2. Startup+を使った Axioline モジュールへのパラメータの設定

Startup+のメイン画面で、下記をクリックしてください。



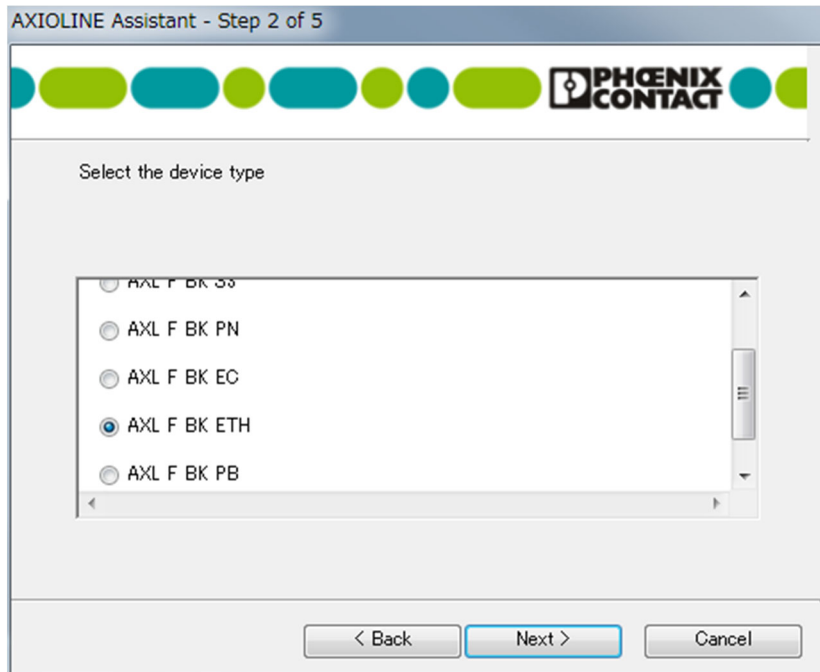
次のようなダイアログが表示されるので、“Create new project”を選択して、[Next>]をクリックして先に進んでください。



次に、バスカプラのタイプを選び、[Next]をクリックします。

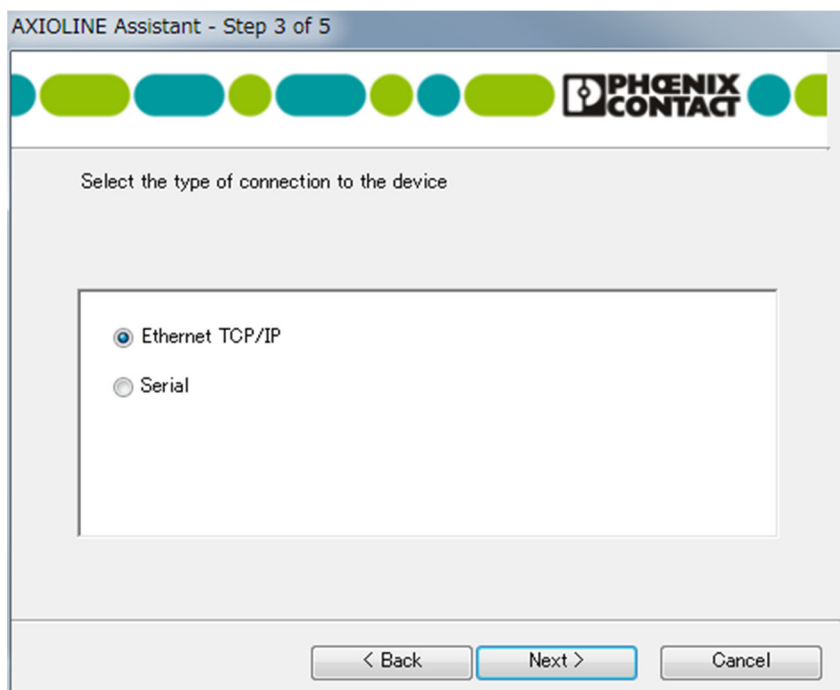
(MODBUS/TCP の場合、AXL F BK ETH を選びます。

EtherNet/IP の場合、AXL F BK EIP を選びます。)



この例は MODBUS/TCP です。

さらに次のような選択が出てくるので、Ethernet TCP/IP を選択して[Next]をクリックします。



Ethernet 接続の場合

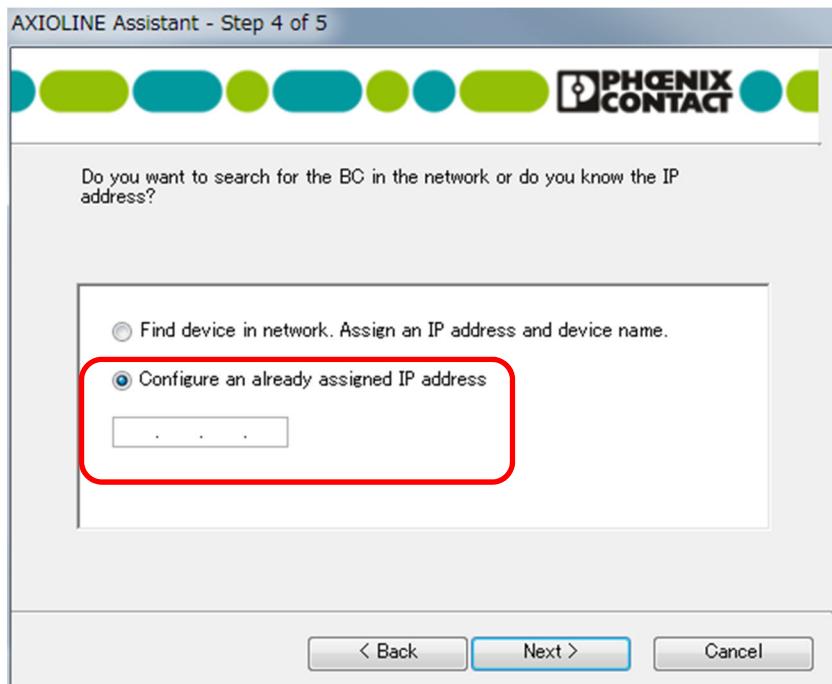
「Ethernet TCP/IP」を選んで下さい。

USB 接続の場合

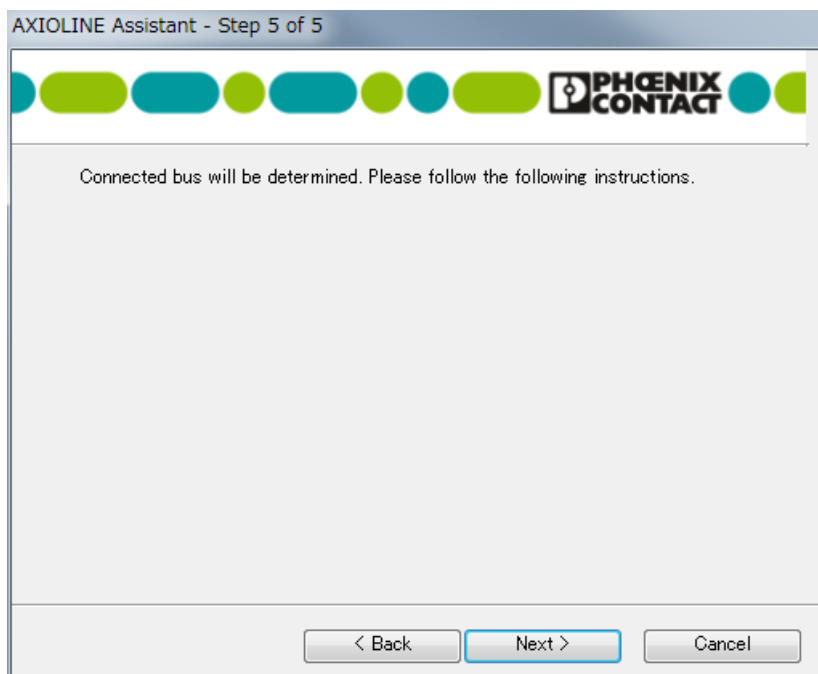
「Serial」を選んで下さい。

次のダイアログボックスでは、“Configure an already assigned IP address”を選択します。

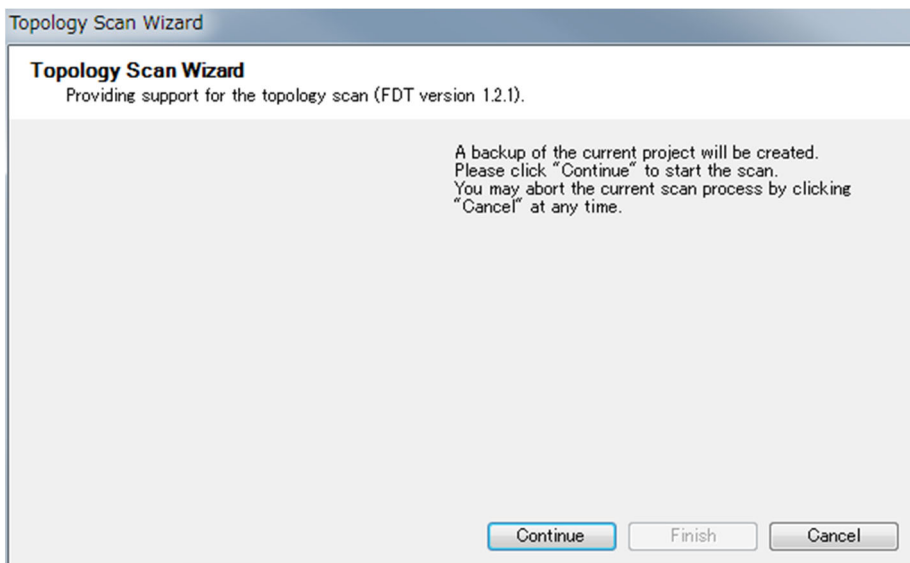
さらに、既に割り付けたバスカプラの IP アドレスを下に入力し、[Next]をクリックします。



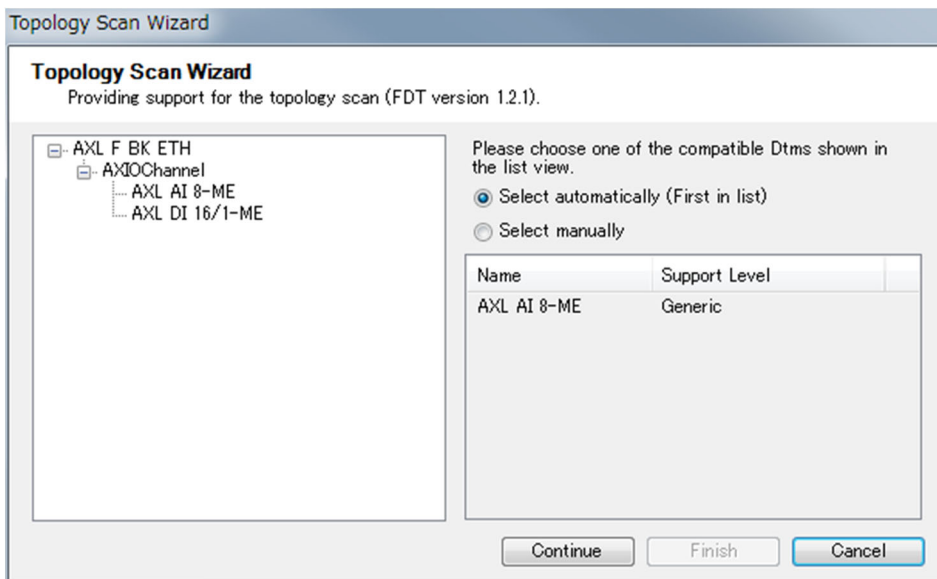
次のようなダイアログが出てくるので、[Next]をクリックします。



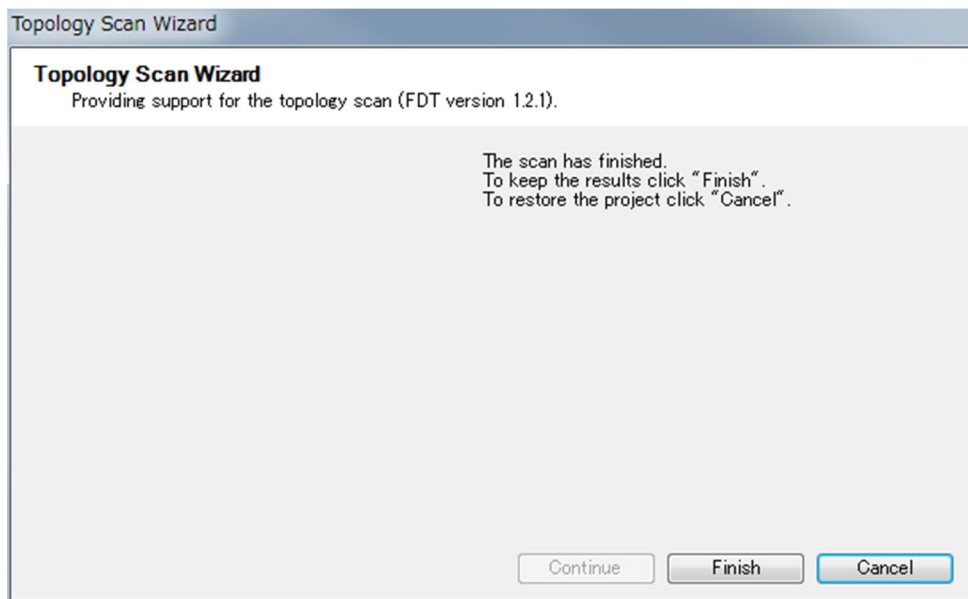
次のような“Topology Scan Wizard”画面が出てくるので、[Continue]をクリックします。



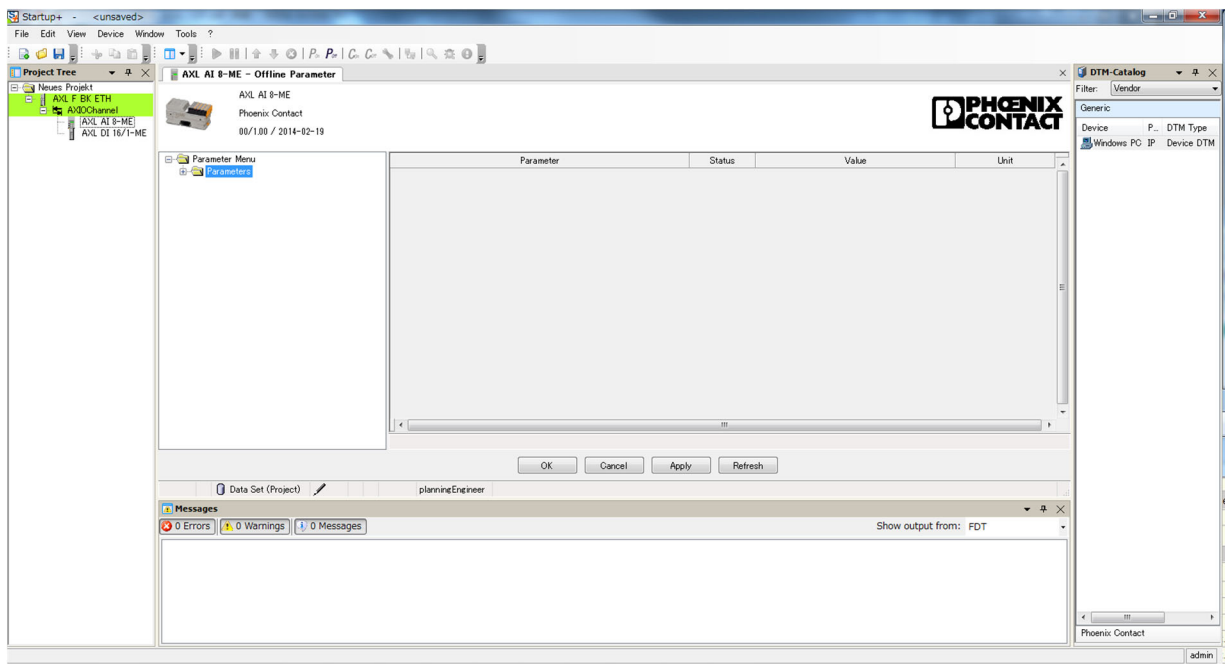
モジュールが見つかると、次のようなダイアログが出てくるので、[Continue]をクリックします。



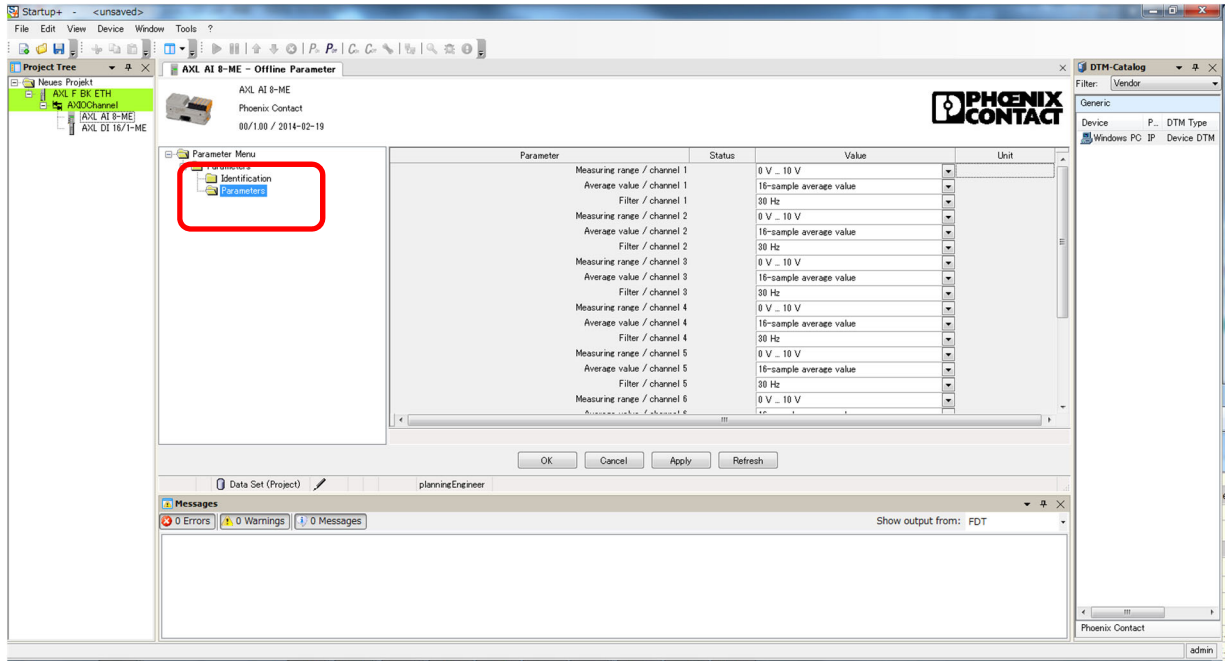
そして、さらに次のような完了ダイアログが出るので[Finish]をクリックします。



Startup+メインウィンドウで、オンラインのモジュールが緑でハイライト表示されます。



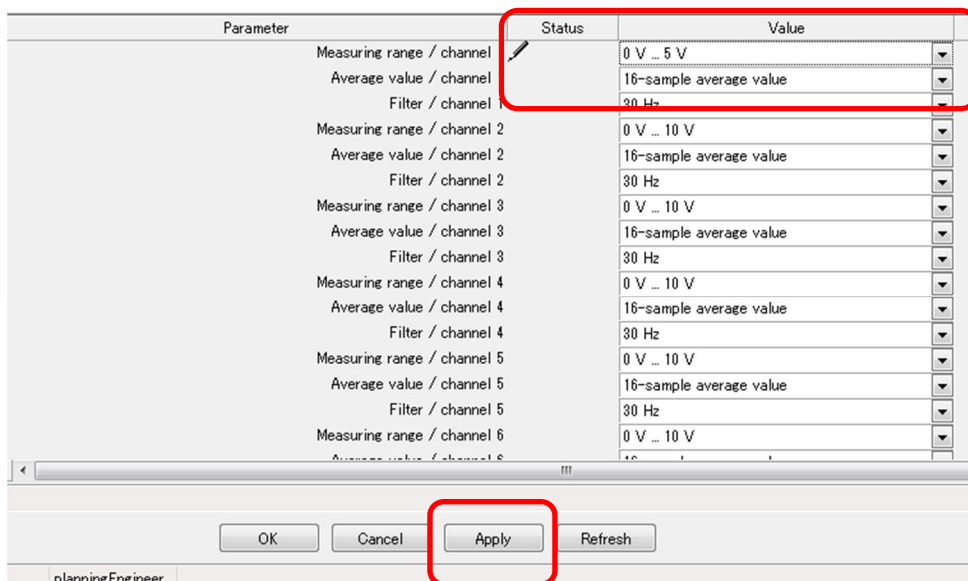
左側の Project Tree の AI モジュールの上でダブルクリックし、さらに AI モジュールタブ画面中左側の Parameters のフォルダを展開すると、下記のような AI モジュールの設定画面が表示されます。”オンライン状態なので、現在設定されている値が表示されています。



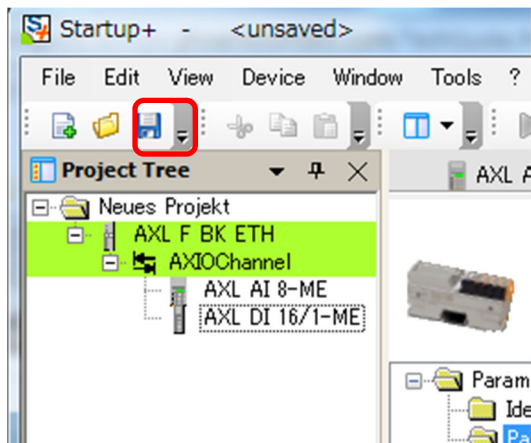
ここで、仮に下記のように一番上の測定レンジの値を 0-10V から 0-5V に変更すると、鉛筆マークが表示され、変更後未書き込みが通知されます。

そこで、下の[Apply]ボタンをクリックすると、モジュールへ変更が書き込まれます。

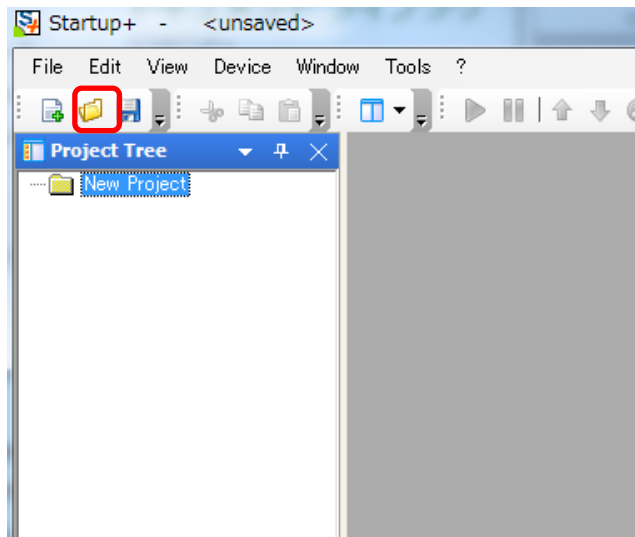
(※オフライン状態の編集でファイルに書き込むためにも、[Apply]ボタンでいったん変更を確定する必要があります。)



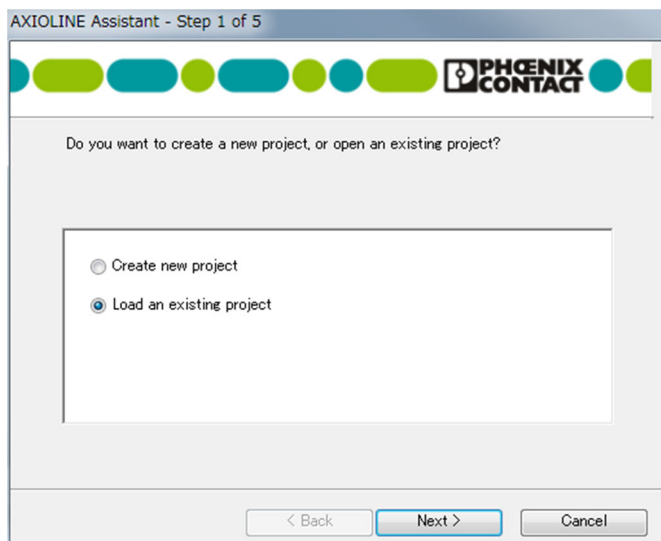
設定内容をファイルへ保存する場合は、メイン画面左上のフロッピーディスクマークをクリックして保存します。



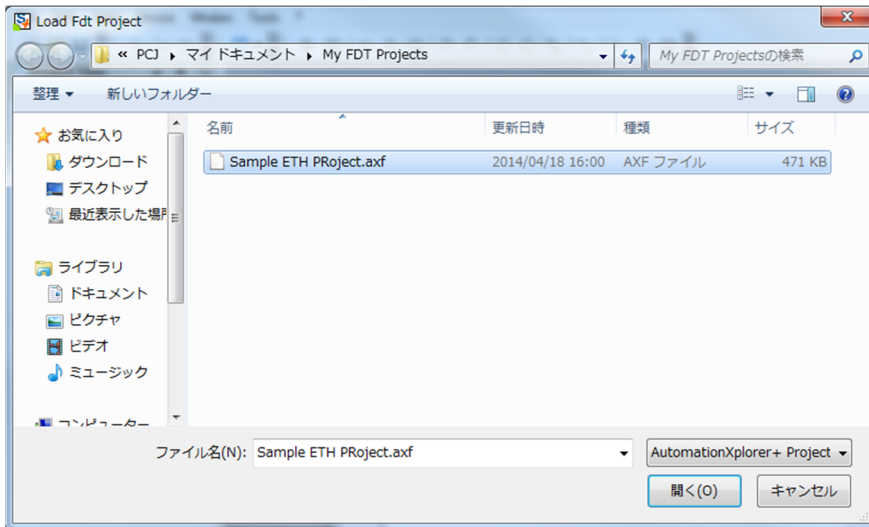
いったん保存したプロジェクトを再度読み込むには、メイン画面でフォルダアイコンをクリックした後、



次のダイアログで、“Load an existing project”を選択して[Next]をクリックしてから、



保存したファイルを選択して、開きます。



ちなみにプロジェクトを開いた後、オフライン状態では、バスカプラの画面では、接続先のバスカプラの IP アドレスを変更できます。そして再生ボタンのアイコンをクリックすると、モジュールにオンライン接続します。

